

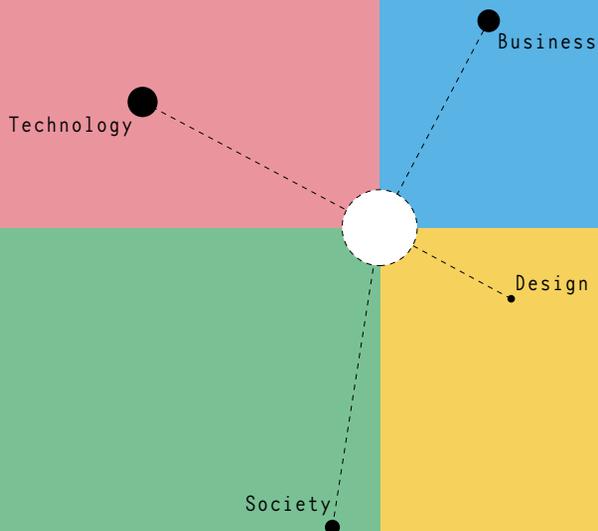
# 後藤滋樹



ごとう・しげき：  
早稲田大学 理  
工学部 情報学  
科教授。MINC  
理事、APAN副

議長などアジア太平洋のイン  
ターネット界で活躍している。

goto@goto.info.waseda.ac.jp



## 旅先での接続

### ホテルもブロードバンド

最近の国際会議では、会場に端末室が設けてある場合が多い。無線LANが使える催し物も増えている。そのような中で、インターネット分野の国際会議の元祖ともいべきINET2002(6月19日～21日、米国ワシントンで開催)には端末室がなく、無線LAN機材は会場の随所にあるものの、参加者が使えるようになっていなかった。

これは一種の驚きであり、参加者の評判はすこぶる悪かった。主催者は「ホテルの客室から高速にアクセスできるのだから、それでよいだろう」と言う。実際に会場となったマリオットホテル(Crystal Gateway Marriott)の客室にはDSLが備えられていた。ただし料金は1泊約10ドルだ。高いと言って使わなかった人もいる。

マリオットのDSLはSTSNという会社のものである。客室にあるSTSN BOXに、イーサネットまたはUSBでパソコンを接続する。DHCPでIPアドレスなどを取得し、ブラウザを立ち上げると、どのページを見に行ってもSTSNのページに誘導されてしまう。そこで料金(1日9.95ドル、あるいは1週間39.95ドル)を確認して「BUY」ボタンをクリックすると、あとは正常にウェブでもメールでも使うことができる。

### 街へ広がるインターネット

私はマリオットではなく、近隣のヒルトンホテルに宿泊した。同様に客室にはWayportという会社のDSLが備えられていた。BOXの形態は少し違うが、料金は1日9.95ドルで同じだ。このあたりが相場なのだろう。

東京でも新宿周辺のホテルでは客室にDSLがあるという。私は東京に住んでいるので、滅多に東京のホテルには宿泊しないが、今年の1月に新宿の京王プラザホテルで「合宿」をした。そのときにはDSLを利用して便利であった。

Wayportの案内を見ると、ホテルや空港でも無線LANのサービスをしている。そう言えば、今回の出張で搭乗したのはANAのワシントン直行便で、成田の出発ロビーの周辺では、無線LANの実験サービスが行われていた。私は看板を見て、すぐに無線LANのカードを挿入してみた。信号強度は大変良好であったが、なぜかDHCPで取得したルーターまでもパケットが到達しなかった。これは残念だ。

### 昔は大変だった

昔は旅先でのインターネットのアクセスに苦労した。珍事はいろいろある。電話がモジュラープラグではない地域には変換プラグを持参する。本誌の別冊付録として各国の電源プラグと電話プラグの写真が掲載された年もあった。持参したプラグが適合しない場合には電話機を分解して信号線を取り出す(新・社会楽(34)ドイツの電話ジャック)97年11月)。

電話線にモデムを接続できたとしても安心はできない。フィリピンのマニラで宿泊したときには、電話線に館内放送のバックグラウンドミュージックが漏話している。受話器を取ると、いつでも音楽が聞こえる状態だ。これではモデムを接続してもダメかと思うと、ありがたいことに低速ならば通信はできる。

イタリアのミラノでは、モデムがまったくダメだった。そもそも電話線で最初のツーンという音がしない。ザーという雑音が聞こえるだけだ。フロントに壊れているのではないかと文句を言うと、「とんでもない、客室の電話はISDNの最新式デジタル電話だ」と自慢された。なるほどISDNにアナログモデムを直結しても通信はできない。ISDNなのにプラグのピンが6本なのが混乱する。

ホテルの構内交換機が中途半端なデジタル式の場合は、モデムの信号がうまく通らないことがあると言う。実際に同じホテルに宿泊した誰かが試してもダイヤルアップに成功しなかった例もある。

### 技術から制度へ

ブロードバンド時代の恩恵はすばらしい。ホテルの客室で1日10ドルを払うのは高いと思う人がいて、その人が使わないとしても、枕元までインターネットが届いている。私は成田空港での無線LANの実験を十分に楽しめなかったが、手元まで無線の電波が確実に強気に届いていた。このような状況では、インターネットへのアクセスは技術的に可能になっている。しかし料金を払う仕組みがあり、あるいは実験に参加する人が心得ておくべき情報がある。これはアクセスの可否を決定する要素が、技術から制度的なものに移っていくという一例である。

### 【参考】

STSN社のサービス  [www.stsn.com](http://www.stsn.com)

Wayport社のサービス  [www.wayport.com](http://www.wayport.com)

成田空港の無線LAN  [www.narita-airport.or.jp/airport/](http://www.narita-airport.or.jp/airport/)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)